



沿道には善光寺本堂ゆかりの桂を植栽している



善光寺から移設された常夜灯



沿道を利用してイベントも開催される

DATA・BOARD ⑩

- ①長野県長野市大門町
- ②延長：150m，幅員：18m
- ③JR信越本線・長野電鉄長野線長野駅から徒歩約15分，長野電鉄長野線善光寺下駅から徒歩約5分
- ④善光寺
- ⑤野外彫刻展，音楽会，野菜市(毎週土曜日)



10 善光寺表参道大門町



長野市の大門町地区は、長野駅から善光寺の門前に至る表参道に位置しており、表参道中央通りの電線地中化工事に合わせた景観整備を行い「善光寺表参道大門町」として歩いて楽しめる街路づくりを行ったものである。この大門町地区は、室町時代から善光寺の門前町として栄え、明治時代以降は長野市の産業、経済、文化の中心として発展してきたところで、地域住民が善光寺とともに築いてきた文化も息づいている。

整備にあたっては、南側の交差点部分に善光寺境内から移設した常夜灯と松をゲートとして設置している。歩道の路面は御影石敷きとしたほか、車道部分にも黒御影石が使用されており、街路樹は善光寺本堂ゆかりの桂が植栽された。

この地区には、大門町イメージ形成ものがたりという地域づくりの基本方針が立案されていたことに加え、中央通り活性化連絡協議会が設立されるなど、住民の地域づくり活動が行われていた。そのため、整備を進めるに際しても行政と地域住民によるさまざまな意見交換が行われた。

また、歴史的建造物の残る地域の特性を背景に、古い商店の歴史を伝えるミニ博物館を開設したり、廃業した旅館を郵便局に、明治時代のレンガ蔵を長野市の物産館に再生するなど、地域づくりに対する取り組みも展開されている。